

令和6年度 学校評価報告書

報告内容

- 1 今年度実施した自己評価
 - ・ アンケート（生徒・保護者・教師）の分析と考察
 - ※ 今後の対応を含む。
- 2 学校関係者評価
 - ・ 学校運営協議会における意見を参考

都城市立庄内中学校

令和6年度 学校評価アンケート 11月実施

1 : そう思う 2 : 少しはそう思う 3 : あまりそう思わない 4 : そう思わない

1 すぐれた知性「確かな学力の育成とキャリア教育の推進」

1 家庭での学習（復習、予習、宅習等）をきちんとやっている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
29	27	56	55	11	15	3	3	23	21	58	60	15	15	5	4	4	11	83	74	13	16	0	0
分析	生徒、保護者、教師とも肯定的な回答が80%を越えている。傾向は昨年と同じだが、昨年度と比較すると、教師の「少しはそう思う」の回答が9%減少している。減少した分の多くは、「そう思う」に変わっており、生徒や保護者の割合に近づいてきている。内容の充実については、引き続き具体的指導が必要がある。										対応	定期テスト前の家庭学習を充実させるために、今年度も学習の内容と時間の計画を立て、その状況を毎日記録させた。この取組を丁寧に見届け、今後も継続させていく。キュービナの活用を推進するとともに、キュービナの効果的な使い方を生徒に丁寧に指導する必要がある。このことを、小中一貫で取り組み、活用頻度を上げていきたい。											

2 各教科の学習方法（家庭で学習する際の勉強方法や学習時間の作り方等）を理解できている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
24	29	53	45	19	6	4	20	16	16	49	47	28	30	7	7	21	21	50	42	29	37	0	0
分析 昨年度と比較すると、生徒は「そう思う」の割合が5%増えている。それに対して、保護者と教師においては「あまりそう思わない」の割合が増加している。肯定的な意見は70%を越えているが、生徒の「そう思わない」の割合も増加していることから、学力の二極化が進んでいる可能性が心配される。								対応 学習方法については、教科担任が授業と家庭学習が相乗効果を生むよう継続的に指導を行う。また、その指導について学級担任も共通理解を図り、学活の時間等を使って、宅習の内容の見直し・改善に取り組ませる。さらに、キュービナの使い方については先述の通り指導していく。															

3 各教科の授業は分かりやすい。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
41	43	51	48	6	3	2	6	24	23	54	55	20	21	2	1	46	32	50	63	4	5	0	0
分析												対応											
生徒、教師ともに90%以上、保護者も80%以上が「そう思う」「少しはそう思う」と回答している。視聴覚教材やICTを取り入れ、きめ細かな指導を行っていることが浸透しているものと思われる。一方で、保護者の否定的な回答は減っていない。保護者に授業改善がどのように進められているのかが浸透していないものと思われる。												庄内地区小中一貫教育で取り組む「庄内スタンダード」、県や市が推進する授業改善に取り組み、ICTの活用を図りながら、生徒が主役の授業を目指す。また、全国及びみやぎ学力調査の結果を分析し、重点課題の解決に取り組みながら、生徒が分かる授業を実現するとともに、保護者への啓発も繰り返していく。											

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
55	53	31	35	9	3	5	10	23	28	37	40	32	27	8	4	33	26	42	63	25	11	0	0
分析 生徒の88%が肯定的な回答をしている。前年度は否定的な回答をした保護者が40%いたが、保護者も教師も前年度より10%減少している。傾向は昨年度と変わらないが、進路や夢について生徒と保護者が話をする機会や生徒の発表の機会が増えたからだと思われる。引き続きキャリア教育に力を入れていく必要がある。								対応 進学先の選択だけでなく、自分の生き方を考えることが進路学習であるという意識を、生徒だけでなく保護者にも持っていただくことが必要である。今後もキャリア教育の視点に立ち、教育課程全体で基礎的・汎用的能力を育成していくとともに、保護者を巻き込んだ進路学習を設定し、生徒が保護者と話し合う機会を設定していく。															

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)													
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4							
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6						
	20		22		31		27		7		17		43		33		32		42		21		5						
分析	今年度から取り入れた評価項目であるため前年度との比較はできない。肯定的な回答は、生徒42%、保護者24%、教師74%であった。教師が高い割合なのは「月一読書」を定期的だと捉えているものと思われる。一方で、生徒や保護者は自宅での評価をしているのではないかと思われる。														対応	読書については、県や市も重点努力事項としている。読書は文字に触れることで知識を獲得できる。現在は、図書館サポーターを中心に学校図書館の活用推進に当たっている。読書＝本であるが、県や市は生徒に電子図書を無償で提供する準備を進めている。生徒や保護者にこのような情報を周知するとともに、活用を進めていく。													

生徒 (%)												保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4					
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6				
60	55	33	36	7	1	1	9	41	39	48	51	11	10	0	0	42	26	54	74	4	0	0	0				
分析 生徒、保護者、教師ともに昨年度と同様で、肯定的な回答が90%を越えている。生徒は、あいさつの習慣が十分身に付いていると考えられる。地域の方からも生徒がよくあいさつをしてくれると評価していただいている。												対応 生徒会が中心に「GET-J」～元気よく・笑顔で・立ち止まって・自分から」というあいさつの取組に主体的に取り組んでいる。適宜、後押しや賞賛を行いながら自ら行動しているという意識を高めさせていきたい。今後とも、日常の指導の中で、時と場に応じたあいさつ、相手との関係性を踏まえたあいさつを身に付けさせていきたい。															

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
57	51	37	41	6	1	1	7	50	52	45	43	5	3	1	1	33	26	54	74	13	0	0	0
分析 昨年度と同じ傾向が見られ、肯定的な回答は、生徒 92%、保護者 95%である。教師は、100%肯定的な回答であった。今年度も校則違反は少ない状況である。自分本位の考えで行動する生徒も見受けられるが、教師の指導で改善されていることから肯定的な回答が多くを占めたものと思われる。								対応 規範意識は高く、校則や社会的マナーやモラルの遵守については、今後とも生徒会に牽引させながら生徒指導主事を中心に定期的に指導していく。規則正しい生活という観点では、スマホやインターネット、SNS、ゲームとの関連性が高く、具体的に生徒に指導するとともに、情報モラルに関しては保護者にも啓発を継続していくことが必要である。															

生徒 (%)												保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4					
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6				
57	57	38	37	4	1	1	5	47	49	48	45	5	6	0	1	38	32	54	68	8	0	0	0				
分析 昨年度と同じ傾向で、肯定的な回答は、生徒、保護者、教師とも95%である。この結果から、生徒は十分に思いやりのある態度で生活していると考えてよい。しかし、時折、不適切な言葉で心を痛める事例や配慮のない言動もみられる。												対応 積極的な生徒指導や道徳の充実で現在の状況を維持していきたい。配慮のない言動がある生徒は、コミュニケーション不足であることが多く、家庭とも連携して個別に対応していく必要がある。相手を思いやりながら自分の考えを伝える力を育てるとともに道徳的実践力を身に付けさせていきたい。															

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
80	71	17	27	2	1	1	2	63	72	35	24	2	4	1	0	63	63	38	37	0	0	0	0
分析	昨年度と同じ傾向で、生徒、保護者、教師とも肯定的な回答で占められている。生徒の日頃の取り組み状況はとても素直で良好である。																						
対応	教師の支援のもと、生徒に主体性をもたせる活動で達成感を得ている。専門委員会の活動をバランスよく活発化するために、担当する委員会の教師と生徒の連絡調整や、総括する生徒会担当との連絡調整をきめ細かに行う必要がある。各学級での係や当番活動について振り返らせ、学級の中での自己存在感を味わわせたい。																						

3 たくましい体「体力の向上と食育・健康・安全教育の推進」

10 学校や家庭等において意欲的に運動に取り組んでいる。

生徒 (%)												保護者 (%)												教師 (%)											
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4													
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6												
59	63	26	20	10	6	5	10	55	49	22	32	16	15	7	4	38	47	58	47	4	5	0	0												
分析		回答の傾向は昨年度と同様で、肯定的な回答は、生徒83%、保護者81%、教師94%であった。生徒、教師で「そう思う」の回答が増加していることから、学校での生活はコロナ禍以前に戻っていると思われる。												対応		体育の授業や部活動だけでなく、昼休みにもグラウンドで運動をする生徒が男女とも増えている。特に1年生はその傾向が見られる。今後も運動強度を上げたり、自重トレーニングなど具体的な取り組みを指導したりしていく。また、自家用車での送迎を減らし、自力登校をするように生徒や保護者に啓発を図る。																			

11 食に対する意識や感謝の気持ちをもち、普段から健康で安全な生活を送るよう心がけている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)											
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4					
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6				
76	71	19	22	4	1	2	6	34	27	53	63	10	8	2	2	25	32	67	53	8	16	0	0				
分析		生徒の93%、保護者の90%、教師の85%が肯定的な回答をしている。昨年度と同じ傾向で肯定的な回答で占められている。食に関しては給食の残菜ゼロの取組。交通安全に関しては、地域からの情報がすぐに寄せられ、大きな事故が発生する前に対応することができ、交通安全の意識が高まったことが要因と思われる。												対応		定期的に発行している「給食だより」や「保健だより」を通して、今後も継続して健康管理について生徒に考えさせ、意識を高めていく。歯科検診後、う歯治療率が100%にならないため、対策が必要である。また、保護者と一緒に取り組む食育の工夫を考えていきたい。下校指導や実践的な交通教室を実施し、安全意識の高揚を図っていく。											

12 毎朝、朝食を取って登校している。

生徒 (%)												保護者 (%)												教師 (%)											
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4													
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6												
84	79	8	10	3	8	4	4	91	85	5	9	2	4	2	2	33	16	63	74	4	11	0	0												
分析								肯定的な回答をした生徒は89%、保護者は94%で、昨年度と同じ傾向であるが昨年度よりわずかに低下している。教師の回答も90%が肯定的な回答であるが、生徒の12%、保護者の6%、教師の11%は否定的な回答であり、朝食を摂らずに登校する生徒が心配される。												対応								給食献立表や昼の放送を通して食の知識を高め、その重要性を理解させることを継続する。「弁当の日」の取組だけでなく、食育に関する情報を通信等に掲載し、朝食の大切さを生徒や保護者に啓発する。また、朝食を摂る習慣が身に付いていない生徒には個別に指導を行い、自力での改善を図らせる。							

4 郷土愛「ふるさと教育の充実」

13 庄内の歴史や産業に関心をもち、この庄内地区に貢献したいと考えている。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
38	41	49	38	10	3	3	18	9	10	46	49	41	33	5	8	29	26	29	63	42	11	0	0
分析								対応															
生徒と保護者は、昨年度の傾向とほぼ同じ。肯定的な回答は、生徒79%、保護者59%であった。教師は89%が肯定的な回答で、昨年度よりも31%増加している。総合的な学習で庄内地区に関わるテーマを取り扱った学年が多く、地域のことを考えさせる場面が増えたからだと思う。								地域行事における生徒の活躍だけでなく、地域と密に関わるふるさと学習を2、3年生の教育課程にも位置づけていくと保護者の認知も高まるのではないかと考える。今後も検討していきたい。また、郷土を愛する態度等を主題とする道徳の授業などは今後も継続していく。															

14 地域の行事やボランティア活動等に積極的に参加している。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
37	35	37	31	18	10	8	24	21	24	49	46	22	24	8	6	46	47	42	47	13	5	0	0
分析								対応															
全体的な傾向は大きく変わらない。地域行事でのボランティア依頼はあるものの、医療関係、福祉関係のボランティアは再開されていないものが多い。校内では、毎朝の清掃活動やあいさつ運動を生徒会や部活動が中心になって行うなど、熱心に取り組んでいる生徒が多い。								生徒は、生徒会などの働きかけで、ボランティアに対する意識はとても高い。まちづくり協議会等の企画にも多くの参加希望があり、抽選で参加者を選抜している状況である。生徒の積極性を維持するためにも、地域からの情報発信を敏感に捉えとともに、新たなボランティアを開拓していく。															

15 学校は、学校や生徒の様子について積極的に情報を発信していると思う。

生徒 (%)								保護者 (%)								教師 (%)							
1		2		3		4		1		2		3		4		1		2		3		4	
R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
40	41	42	35	15	9	3	15	37	40	47	43	12	15	4	2	92	84	4	16	4	0	0	0
分析								対応															
学校ホームページの更新頻度を上げたり、学校メール (Sigfy) による情報発信をこまめに行っている。全体的に昨年度と同じ傾向で、生徒の76%、保護者の83%、教師は100%が肯定的な回答であった。生徒の数値が低いのは、学校メール (sigfy) の配信対象ではないことが原因だと思われる。								今年度の学校ホームページのアクセス数は、1日あたり300~400件で推移している。地域に回覧をお願いしている学校日より「元気通信」の内容は学校ホームページの内容であるため、ホームページで見ていただければ、写真もカラーで大きく見ることができる。通信に掲載しているURLやQRコードで閲覧数を増やしていきたい。															

【回答数】 生徒…188名 保護者…144名 教師…19名

令和6年度 都城市立庄内中学校 学校評価
「学校関係者評価の結果」

庄内中学校が実施した「令和6年度自己評価」の結果をもとに、本校学校運営協議会では、以下のとおり学校関係者評価を行った。

自己評価の実施状況	○ 今年度の学校経営ビジョン達成に向けての重点目標に沿って評価項目を設定し、教師や生徒、保護者に周知した上で、11月にアンケート調査を行い、自校の取組を分析し、考察を行った。さらに内部評価として各学年での評価、校務分掌部における評価等も定期的に行いながら、現状把握及び課題確認と解決へ向けての手立てを協議した。
自己評価結果の分析及び今後の対応として、学校に期待すること	1 確かな学力の育成とキャリア教育の推進 ○ アンケートについては、先生方の指導のおかげですべて確かな力がついてきている結果になっています。参観授業、文化発表会、体育大会等の様子から、日頃の指導の成果を授業に臨む生徒の態度に成長を見ることが出来ました。生徒が主体的になって取り組んでいました。これからもよろしくお願いします。 ○ 全体的に先生方の評価が上がっているのは良い傾向だと思う。授業で分からない生徒がいても置いてきぼりにして欲しくない。 ○ 進路に関しては、人生を逆算して考えるようにして欲しいと思う。 ○ キュピナの利用方法をすべての生徒がマスターしているのでしょうか？ ○ 「少しはそう思う」の回答が多いのは、遠慮と自信のなさでしょうか？私としては「わかる」「わからない」とはっきりさせて欲しいです。 ○ 参観日において教室が和気あいあいである。良いことであり今後もそのようであって欲しい。 ○ 「各教科の授業は分かりやすい」の問いでは91%の生徒が肯定的なので、工夫して指導されているものと思う。今後も分かりやすい授業を継続していただきたい。 ○ 読書については大切で、新たに評価項目に加えられて有り難いです。ペーパーに書くことも習慣づけて欲しいです。 ○ 定期的な読書については、協議会でも意見があったように本の定義が個人によって異なるのかもしれないと思った。 ○ 小中一貫教育で取り組んでいた「庄内スタンダード」の推進をお願いしたい。 ★ 学校に期待すること…「定期的な読書」「キャリア教育の充実と啓発」 2 積極的な生徒指導の推進と心の教育の充実 ○ 日頃のあいさつ等の様子から素直な生徒を見ることが出来ました。そこには、先生方、保護者の方々の姿が大きいと思います。針と糸の関係を感じます。毎日の指導に感謝します。小学校から9年間を通しての指導が生かされていると思います。 ○ 「豊かな心」については毎年のことながら高い評価ですが、中にはコミュニケーションやあいさつ等を苦手とする生徒もいるのでそのあたりも理解して欲しいと思う。 ○ この項目は素晴らしいと思います。「豊かな心」を持ち、学力まで備わると、社会に出たときに心配なしかと思えます。たまには突拍子もないことが出来る生徒も欲しいです。 ○ コミュニケーションの取り方や上下、地域、親族関係が希薄になってきているとよく言われるが、私自身もそう思います。多くの生徒たちは衣食住が整っていると思うが、現実には下がりつつあると思う。先生たちをお願いしたい。現状から未来へ、今後どのように流れていくかを教えて欲しい。 ★ 学校に期待すること…「心の教育の充実」「家庭と学校との連携強化」 3 体力の向上と食育の推進 ○ 体育大会、部活動の様子より、これまでの取組の成果がうかがえます。 ○ グラフを見ると、体力の向上等には多くの生徒が前向きである。人生には健康が何よりも大切であることを知って欲しい。 ○ 食に関する指導にも取り組んでいただき有り難く思います。生きる力になります。 ○ 朝食については、「たくましい体」ももちろんですが、朝から親としっかりコミュニケーションをとってスタートすることにも意味があると思います。

自己評価結果の分析及び今後の対応として、学校に期待すること	○ 庄内地区PTA研究大会で、多くの保護者が参加して食育について勉強したことは良かったと思う。 ○ 車の送迎の問題では、安全に関する問題等もありますが、生徒が自分で鍛える気持ちをもつようになってくれればと思います。 ○ 生徒の送迎が気になります。送迎をするのなら、止めて、立ち番でも計画できないでしょうか。 ○ 何をやるにもとても大事な項目で、すべての基になるので、もっともっと高評価になるようにみなさんで努力していただきたい。 ★ 学校に期待すること…「家庭との協力による食育の充実」「体力の向上」 4 ふるさと教育の充実 ○ 地域のみなさんの協力、環境、まちづくり協議会等を学校教育に生かした学校経営が行われています。それが生徒にうまく伝えられ機能しています。ふるさとを愛する心を大事にしてください感謝します。 ○ 庄内の歴史や文化を知るとはとても大事だと思うが、魅力あるふるさとづくりをするのは我々大人の責任も大きいと思う。ふるさとに留まらせようとは思わないが、帰ってきたいとは思わせたい。 ○ 最高です。 ○ 生徒は地域の行事等に参加して郷土愛を育んでいると思う。保護者も忙しいと思うが、少しでも参加して欲しい。 ○ 多くの生徒は貢献したいと考えているようです。そう思っていない人は県外等に出て行き頑張ってみようという人たちだろうか？聞いてみたい。誰かに教えて欲しい気持ちである。 ○ Sigfyの配信にはいつも感心させられる。ありがとうございます。 ★ 学校に期待すること…「地域行事への参加の奨励」「保護者への積極的な啓発」
--------------------------------------	---